

医王病院ニュース

患者さん一人ひとりに寄り添い、心のふれあいを大切にし信頼される医療を目指します。

倶利伽羅不動寺

夏号
第66号

令和6年8月30日発行

心魂プロジェクトさんがやってきた！

院内呼称が『管理栄養士』になりました

能登半島地震における医療的ケア児支援について
～埼玉県小児在宅医療支援研究会からの依頼によるweb発信～

石川県立医王特別支援学校

マイナ保険証

外来担当表、病院案内図

心魂プロジェクトさんがやってきた！

療育指導室 児童指導員 山田 優佳

6月1日より石川県を元気づけるべく、県内の計4ヶ所でパフォーマンスを行っていた心魂プロジェクトさん。医王病院が石川県ツアーでラストの会場でした。今回はオンラインで患者さんを楽しませていただきましたが、今回は念願かなって対面でのパフォーマンスを届けていただきました。

第一部

デイサービスでは、それぞれのベッドサイドまで近づいて、ひとりひとりに歌いかけてくださいました。利用者さんたちはにっこり微笑んだり、照れた表情を見せたり。プロの歌声に職員も聞き入っていました。



第二部

本日のメイン会場は北棟3階地域医療研修室！各病棟から合わせて30名ほどの患者さんが集まりました。まーくんの「知らない世界観の中に、知っているスタッフがいることで安心感をもってもらえるように…」という提案で、歌に合わせて私たち療育指導室のスタッフが患者さんたちの前でソーラン節を披露し、医王病院と心魂プロジェクトのここだけのコラボレーションが実現しました。





第三部

第二部のあつと、心魂プロジェクトさんは二手に分かれて、各病棟の一部のお部屋を訪問。各お部屋の患者さんたちの年齢層に合わせた選曲で、ここでもまた響き渡る素敵な歌声！それぞれ一緒に手拍子したり手を伸ばしたり、たくさんの笑顔が見られました。病棟スタッフも患者さんと共に楽しみ、いつもとはまた違ったコミュニケーションが生まれていました。



第四部

さらに、「日頃から頑張っているスタッフさんに向けて」と、ご厚意でスタッフ向けパフォーマンスまで開催してくださいました。テーマは『今日だけは自分をほめて、癒してあげよう』。就業時間後にも関わらず、たいへん多くのスタッフが集まりました。癒しの音楽から始まり、力強く、温かい歌声に、心が揺さぶられるようでした。まーくんからは、この活動を始めた理由や他の地域での活動内容などお話いただき、とても有意義な時間になりました。



心魂プロジェクトとは…

劇団四季や宝塚歌劇団出身の俳優が中心となり本物のパフォーマンス体験をとどける公演事業、心と心をつなぐパフォーマーをそだてる育成事業、コミュニティの場のオンライン事業、活動を通して得た学びをひろげる普及啓発事業をされている団体です。

今回は、寺田真実さん（まーくん）、有永美奈子さん（みーちゃん）、岩本潤子さん（じゅんちゃん）、加藤伊吹さん（いぶちゃん）の4名が来院されました。



院内呼称が『管理栄養士』になりました

栄養管理室 管理栄養士 川井 凱

2024年6月1日より私たち栄養士の院内呼称が管理栄養士になりました。

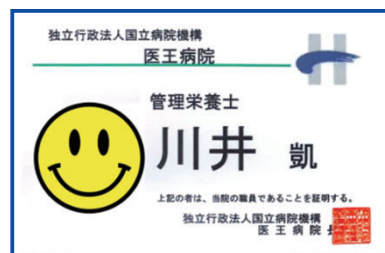
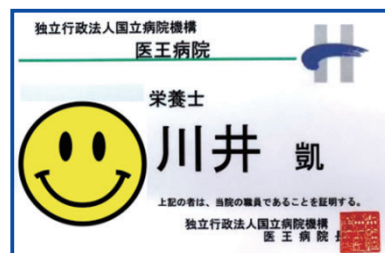
皆さんは栄養士と管理栄養士の違いはご存じでしょうか。それぞれ取得方法の違いとして、栄養士は養成施設を卒業すると都道府県知事からの免許を受けられますが、管理栄養士は養成施設を卒業後、受験基準（栄養士免許を持っていることなど）を満たし、管理栄養士国家試験に合格することで厚生労働大臣より免許を受けます。

栄養士の免許を取得することで集団給食といった給食業務や食育教室などを行えますが、病院での栄養指導やNSTなどをはじめとする患者様の栄養管理を行うには管理栄養士免許が必要です。

国立病院機構東海北陸グループで働く栄養士は、全員が管理栄養士免許を取得しています。当院で私たちは以前まで管理栄養士としての業務を行っていましたが、院内では「栄養士」と呼ばれていました。

院内呼称が変わり、私たちの胸章には管理栄養士と銘記されています。院内で私たちを見かけた際は「栄養士の〇〇さん」ではなくその前に「管理」をつけて「管理栄養士の〇〇さん」と呼んでいただけないでしょうか？

きっとスタッフも喜んで、モチベーションも上がります。

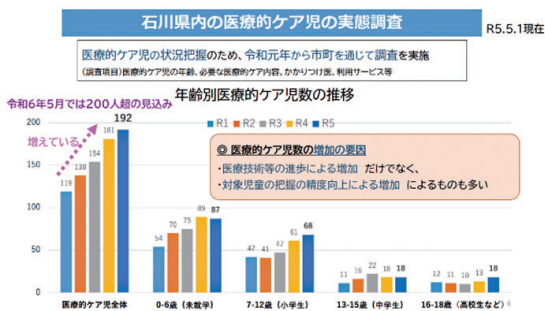


能登半島地震における医療的ケア児支援について ～埼玉県小児在宅医療支援研究会からの依頼によるweb発信～

事務部長 中谷 晶光

平成6年1月1日に発生した能登半島地震に関して、県より受託している「医療的ケア児支援センター『このこの』」が積極的に活動を行い、県内の医療機関との調整がスムーズに行えたことが評価されています。6月12日には、埼玉県小児在宅医療支援研究会からの依頼により、当院より丸箒第2診療部長、医療社会事業部 中本主任ソーシャルワーカーのほか、いしかわ医療的ケア児・障がい児家族グループ「PareTTe(パレット)」代表の谷畑様も参加され、500名近くの方が視聴されました。災害時のBCP対策が求められる中、今回のような活動が全国に広がっていく重要性を感じています。

○当日の様子とスライドの一部を紹介します。



発災から当センターの動き

- 1月1日:(偶然)センター職員2名が日直
 - 1月2日:センターが関わっている子どもの家族への連絡および家族会のLINEにて状況把握
県担当者から地域保健師からの情報収集・提供・共有
*1月2週目まで続く **状況等把握**
 - 1月5日:重症心身障害児者が多く療養している能登地区の病院の状況を把握 毛布等が不足。医療的ケア児等Co支援協議会に支援を求める
嚥下食・トロミ材の不足についてつばさ静岡さんに依頼
 - 1月8日:北端の総合病院に手洗いスタンド・シャワーキットの必要を聞く等
困っているところに支援を届ける「つなぐ」
 - 1月10日~:避難入院をしている子どもの退院支援
 - 1月中旬以降:避難している子どもとその家族の生活状況把握 訪問・面接
生活の立て直しを支援
- 各マスコミ・支援団体からの取材・研修会等講師・ホームページでの情報発信
子どもたちの置かれている状況を伝える・つながる

地域とのつながり 「遠くの親戚より 近くの他人」

医療的ケア児や重症心身障がい児を連れたる避難は大人一人だけでは不可能な場合が多い
→「自助」のみでは無理、「共助」が大切

医療的ケアや障がいのある子という専門職しか関わってはいけないようなイメージを持たれがちだが緊急時、まず一番欲しい助けは「荷物を持ってもらうこと」多くの人は「たくさん荷物が必要なこと」自体を知らない

「あの子」として存在や暮らしを知って、関係ができてこそ「あの子避難できそうかな」「何かできることないかな」と考えてくれる余地が生まれる

×一方的に助けてもらう関係 ○地域にいる一人の子ども

小児呼吸器地域ネットワークと医療的ケア児支援センターこのこの連携

- 2024年1月1日
16:10発災(M7.6 最大震度7)
16:38~ 情報共有開始
被災地の情報を確認しながら
要救助者のピックアップ
一両日のうちに自施設かかりつけの医ケア児の安否をおおむね確認、情報共有できた(音信不通も含め...)
- 自施設の業務、
家族の身の安全確認をしながら...
- 医療的ケア児
3名の避難入院受け入れ
地域の状況を一掃共有...
- 災害時小児周産期リエゾン 県対策本部の情報
 - 小児呼吸器地域ネットワークグループLINE & ML (金沢大学、金沢医科大学、県立中央病院、医王病院、珠洲総合病院、市立輪島病院)
 - 病院間ML 医療的ケア児の情報共有
 - いしかわ医療的ケア児支援センター このこの当事者、支援者とのやり取り

< 医王特別支援学校の様子 >

校外学習 6月12日(水)

校外学習で小学部2名が金沢港クルーズターミナルへ行ってきました。天候にも恵まれて、海からの潮風を感じたり、海上保安庁の船の迫力ある大きさを感じたりと、普段の病室では味わえない楽しい一時を過ごすことができました。



海からの潮風は気持ちいい～



海上保安庁の船は大きいなあ

院外・校外学習の夏

院外学習 6月19日(水)

病棟訪問教育部の小学生2名が院外学習に参加しました。直接学校に来られない児童もオンラインで接続して参加しました。普段はベッドで楽器の体験をしていますが、この日は音楽室でグランドピアノの迫力ある演奏を聴くことができ笑顔いっぱい。図書室前にある壁画の前で記念撮影をしてから病室へ戻りました。短い間でしたが実習生の参加もあって楽しい時間となりました。



院外学習 7月4日(木)

梅雨の晴れ間の蒸し暑い日ではありましたが、病棟訪問教育部小学部2名が学校で活動する「院外学習」がありました。学校までの通路でもいつもと違う様子を感じているようでした。学校では記念撮影、校長先生との合奏、楽器体験など盛りだくさんの内容でした。短い時間でしたが、学校の様子を感じたり、楽器の音色や響きを楽しんだりすることができました。また行きたいね!

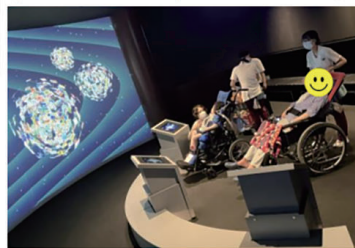


校外学習 7月3日(水)

県立図書館に行ってきました!



暑い日でしたが、学校から意外に近くてすぐに着いたので、涼しい館内をたっぷりと探索できました。



病院スタッフの皆さんのおかげで体調も万全に整えて、予報の雨も吹き飛ばし、楽しい思い出ができました。ありがとうございました。

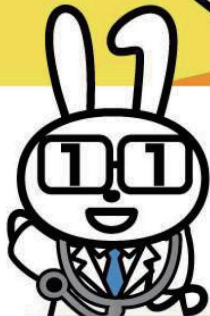
行事や日常の授業の様子、自然に囲まれた校舎の様子など、ここでは紹介しきれなかったことがたくさんあります。学校ホームページで紹介しています。是非ご覧ください。

「石川県立医王特別支援学校HP」は、・・・
<http://cms1.ishikawa-c.ed.jp/iouxxs/>
 パソコン、携帯電話等からご覧いただけます。

マイナ受付

対応しています

医療機関や薬局で、保険証の代わりに
マイナンバーカードを使う新たな方法。
それが「マイナ受付」です。



マイナンバーカードが 保険証として使えます。

マイナンバーカードを保険証として使うと

POINT 01

より良い医療が可能に!



初めての医療機関等でも、薬剤情報等の閲覧機能を使えば、今までに使った薬の情報が共有でき、より適切な医療が受けられるようになります。 ※閲覧できるのは、医師・歯科医師・薬剤師等有資格者のみです

POINT 02

手続きなしで限度額以上の一時的な支払が不要に!



限度額適用認定証等がなくても、高額療養費制度における限度額を超える支払が免除されます。

このステッカーが目印!



事前に登録するだけで利用できます!



詳しくは 

マイナポータル



～ 外来診察のご案内 ～

【診察時間】

内科

診察受付/午前 8:40～11:30
診察時間/午前 9:00～12:00

小児科

診察受付/午前 8:40～11:30 午後 14:00～16:00
診察時間/午前 9:00～12:00 午後 14:00～16:30

【休診日】土曜・日曜、祝日

●小児科外来担当

	診療科	月	火	水	木	金
午前	一般	中村 (細野/高桑)	細野 (大学医師 /加藤)	脇坂 (大学医師 /細野)	高桑 (大学医師 /細野)	細野 (大学医師 /山田)
		山田 (加藤/丸箸)	丸箸 (大学医師 /加藤)	加藤 (細野/山田)	山田 (高桑/加藤)	加藤 (高桑/丸箸)
午後	一般	山田 (加藤/丸箸)	丸箸 (大学医師 /加藤)	加藤 (細野/山田)	山田 (高桑/加藤)	加藤 (高桑/丸箸)

- ・予防接種をご希望の場合は、午前中及び15時～16時に受診してください。
- ・医師の出張等により急遽担当が変更になることがあります。

●専門外来（要予約）

<小児心身症> 中村
<言語/発達> 中村・脇坂・加藤
<神経/てんかん> 脇坂
<重症心身障害児> 丸箸
<筋ジストロフィー> 脇坂
<肥満> 山田

●内科外来担当

	診療科	月	火	水	木	金
午前	一般内科	交代制	田上	交代制	交代制	田上
	脳神経内科 (再診)	山口 高橋	駒井 本崎	石田 高橋	駒井 本崎	吉延 石田
	脳神経内科 (初診)	13:00 山口 15:00 高橋			11:00 本崎	9:00 吉延 11:45 石田
	呼吸器内科		田上			田上

- ・脳神経内科の受診は電話予約が必要です。内科外来へお問い合わせ下さい。

●皮膚科

	診療科	月	火	水	木	金
午後	一般	大学医師			大学医師	

～ 患者さんの権利と義務 ～

患者さんは誰でも人間としての尊厳を大切にされ、医療を受ける権利を有します。また、医療は患者さんと病院職員が、お互いの信頼関係に基づき共に作り上げていくものです。したがって患者さんには医療に積極的に参加していただく必要があります。

当院はこのような考えに基づき、下記の「患者さんの権利」を尊重して医療を提供いたします。また患者さんは「患者さんの義務」を果たされるようお願い致します。

患者さんの権利

1. 患者さんは良質な医療を公平に受ける権利を有します
2. 患者さんは病気に関する情報や検査・治療についての説明を聞き、自分の受ける医療を選択できます
3. 患者さんは個人情報保護される権利を有します
4. 患者さんはいつでもカルテ開示を求める権利を有します
5. 患者さんはいつでもセカンドオピニオンを求める権利を有します

患者さんの義務

1. 患者さんには病院の諸規則を守る義務があります
2. 患者さんには自ら病気を治そうと努力し、また病気に関し病院職員の指示を守る義務があります
3. 患者さんには他の患者さんの治療や検査、快適な療養生活に支障を与えないように配慮していただく義務があります
4. 患者さんには当院での入院治療が必要でなくなった時には退院頂く義務があります
5. 患者さんには医療費の外、利用契約に基づく一部負担金などを支払う義務があります

医師および医療従事者の権利

医師および医療従事者は、自らの良心や医療倫理に相反することに対して、患者さんからの要求があっても拒否する権利があります

職員募集

詳しくは病院ホームページまたは管理課 庶務班長までお気軽にお問合せ下さい



独立行政法人
国立病院機構 **医王病院**
北陸脳神経筋疾患センター

- 交通アクセス
- ・JR金沢駅よりJRバス(深谷元湯行・不動寺行)で30分、医王病院下車
- ・IR森本駅より徒歩15分・北陸自動車道 森本ICより車で5分・山側環状線より車で5分

〒920-0192 金沢市岩出町二73-1 TEL.076-258-1180 FAX.076-258-6719 <https://iou.hosp.go.jp/>

■発行者 医王病院 ■発行人 石田千穂 ■発行日 令和6年8月30日 ■印刷所 株式会社ハクイ印刷